



寺尾病院「健康のつどい」開催

平成 29 年 11 月 18 日 (土) 当院 3 階会議室にて「寺尾病院健康のつどい」を開催しました。当院では地域の皆様に健康の保持・増進、ご自身の心身の健康に関心を持ち、院内の専門職による正しい知識と情報を提供したいという思いから健康のつどいを開催しております。今回 51 名の地域の皆様にご参加をいただきました。



今回は下記のプログラムにて健康のつどいを開催しました。

- 第一部
「認知症について～認知症にならないために～」
医師 堀内 雅彦
- 第二部
「予防しよう！ロコモティブシンドローム」
リハビリテーション科
- 第三部
「しまったインフルエンザだ...」
看護部

当院医師による認知症の話から始まりリハビリテーション科による体操、看護師によるインフルエンザにかかった時の対処法を皆様にご紹介しました。参加された方が多く感心を持たれていたのがマスクの着用方法でした。どっちが表かな？どっちが上かな？と意外と間違っていて着用されている方も多いように思いました。皆様からいただいたアンケートの中には次回の開催はいつですか？次回も楽しみにしています。というありがたいご意見をいただきました。



基本理念

- 安心・安全納得の医療を
最新の知識と技術をもとに提供します。
- チーム医療・チーム看護による
満足していただける姿勢で臨みます。
- 患者様一人一人に向き合って
愛と礼節をもって実践に努めます。



医療体制とこれからの医学

内科 城 誠也

世界に冠たる日本の国民皆保険制度は1961年成立しました。高度経済成長を背景に国民の医療福祉の金字塔として成立したものの少子高齢化の波には打ち勝てず維持困難な状況となりつつあり、医療費の国民負担増と地方自治体への過重負担のしわ寄せを余儀なくされております。人口構成の変化や医療技術の進歩によりここ10年で医療界の大変革が起こっていることをふまえ制度や体制、医療観を主観的感想として記載してみました。

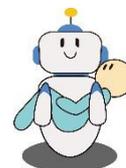
【格差】都市圏と僻地医療の格差や偏在は学生やインターンの時期からすでに始まっており、医師や医療レベルの均等化は困難な状況に置かれています。医師になってからの価値観の押しつけは困難であり仕事の優・不遇をつけない教育が不可欠であると同時に情報・技術の普遍的波及化と報酬面の是正など必要と思われます。

【維持】少子高齢化と国民皆保険制度の維持はややもすれば医療費削減と高齢者や弱者切り捨てに近い状況で体制改悪が行われつつあります。介護保険制度を巻き込み被介護者や介護従事者に負担増を迫り北米並みの福祉国家にはほど遠い状況で時代に乘遅れた感があります。福祉税や熟年世代（団魂世代）の働き方改革や健康長寿意識の浸透を図る方向性が望まれそうです。

【連携】途切れない医療や多職種参画医療の効率を上げる上では連携は重要な体制です。急性期・回復期・慢性期・療養期・介護の振り分けは専門医と家庭医のすみ分けと同時に協力が必要でしょう。特に高齢者対策として在宅医療・療養のシステム構築は直近の課題と考えられ医療と介護を区別しない包括的な療養体制が必要ではないでしょうか。

【労働】医療界の働き方改革も非常に切実な問題で、長時間労働や時間外労働、勤務医師の過労死や激務が上げられます。長時間業務に携わっていることが熱心で奉仕感があるといった慣習があり、また医師側も使命観や倫理感として受け入れざるを得ない。昨今大企業での過重労働（永山の一角に過ぎないのでは）により自殺者の問題が表面化しましたが、医療界でも隠れた労働基準問題はあると思われます。医師個人の適正やコミュニケーション力なども実は医療遂行能力の重要な要因であることは体制に隠れた一面かもしれません。

【進歩】医療の進歩と合理化の面では、AI（人工知能）やICT（情報通信技術）は今後日本国内の格差是正のみならず世界レベルでの医療や福祉の共有ができるツールの一つでしょう。iPS細胞（再生医療）やゲノム解析、ロボット技術やビッグデータ解析とその応用は近未来的予防医学や診断、治療技術に貢献するとともに医療従事者の人手不足を補い効率向上の面で必要不可欠になると考えられます。ただし、AIの活用は人類が創造し得た最大・最高のものであるが人類最後の発明にならぬ様人間の英知が試されます。



【淘汰】時代に適応し生き残れる病院、医療とは国や行政がトップダウン式に未来の動向を見と
うした知恵ある方向性を示すことは当然ではありますが、患者様や地域住民のニーズに沿い迅速
かつ柔軟に対応できる現場医療機関が必要です。医療界の進化や生き残りを成し遂げられるの
は、強者や賢者ではなく変化に対応できる柔軟性を持てるものとは確信をついています。医師に
は二つの手が必要であると言われます。第一の手は病気を正確に判断し的確に治療する科学の手
と、第二の手は暖かく人間（患者）を包み込める人道的な癒やし哲学の手だそうです。医は仁術
なりとは儒学者開原益軒の養生訓にあります。万人のため貴賤貧富の隔てなく仁愛をもって医の
職責を果たすべし。この基本理念はどのように時代が変わろうとも揺らぐことのないよう心した
いものです。

以上主観的雑感をのべましたが、地域医療に貢献できるよう微力ながら皆様と協力して医療奉仕
をしていきたいと思っておりますのでこれからもよろしくお願い申し上げます。



てらおトピックス

院内研修 嘔吐物処理研修

11月15日～29日の4日間、全職員を
対象に嘔吐物処理研修を行いました。
ノロウイルスやインフルエンザが流行
し始め目の前で嘔吐された場合、現場
に居合わせた職員が処理を行う必要が
あります。

この研修を活かし患者様への感染予防
に努めたいと思います。



ハロウィン仮装で登場！

当院の保育所では毎年ハロウィンの時
期になると可愛い仮装をした保育所
の子供たちが登場します。今年はマリオ
にルイージ、白雪姫、先生はウォーリ
ーに仮装してお菓子を求めてウロウロ…
患者様から可愛かね～と言われ、職員
からたくさんのお菓子をもらってご満
悦の一日となったようです。



新入職員紹介

どうぞよろしくお願いいたします。



山部 美紀 (看護師)

松本 典子 (看護補助)

森 翠 (看護師)

鹿子木 貴代 (看護補助)

外来医師担当表

受付時間 午前8:30~11:30 午後13:00~16:30 診療時間 午前9:00~12:00 午後14:00~17:00

		月	火	水	木	金	土
耳鼻咽喉科	午前	寺尾	寺尾	寺尾	寺尾	寺尾	寺尾
	午後	寺尾	寺尾	寺尾	寺尾	寺尾	寺尾 担当医(月2回) (大学病院)
整形外科	午前	高松	高松	高松	高松	高松	高松
	午後	高松	—	高松	—	高松	—
内科	午前	松本・城 宮本・中野	堀内 宮本 一二三	松本 城 宮本	堀内 深堀	城・松本 宮本(第1) 堀内(第3) 光武(第2・第4)	堀内 担当医 (大学病院)
	午後	中野	松本 堀内	城	深堀	宮本	堀内(第1) 担当医 (大学病院)
皮膚科	午前	—	—	担当医 (久留米大学)	—	大山	—
	午後	—	—	担当医 (久留米大学)	—	—	—

※担当医は毎週、大学病院より診察に来ます。 ※急患対応、緊急手術、学会出席や出張研修等により休診となる場合があります。 ※日・祝日は休診です。急患の方はこれに限らず24時間対応致します。

特別診療 当院では熊本大病院より専門医が診察を行っております。ご希望の方は受付窓口にご相談ください。

		月	火	水	木	金	土
循環器内科	午前				小島 淳		
	午後	副島 弘文			小島 淳		
呼吸器内科	午前						
	午後	垣内 洋祐					
神経内科	午前				松尾 圭将		
	午後						
小児科	午前						
	午後				深堀 優		



- 九州産交バス／熊本～山鹿線
植木1丁目バス停より……徒歩約1分
- JR九州／JR鹿児島本線
植木駅下車……タクシーで約8分
- 自家用車／九州自動車道
植木インターより……車で約10分
熊本市水道町交差点より…車で約30分



医療法人 寺尾会
寺尾病院
熊本市救急告示病院

〒861-5504 熊本市北区小糸山町 759

TEL (代表) **096-272-0601**

FAX 096-273-2759

TEL デイケア 096-245-7156

居宅 096-272-0695

<http://www.terao.or.jp/>